

全日本民医連第13回共同組織活動交流集会 in 東海・北陸(9/4~5 石川)

香川から職員3名、組合員3名が参加しました！

全日本民医連第13回共同組織活動交流集会が9月4~5の両日、石川県・加賀温泉郷で開かれました。集会は、全国から参加目標を大幅に上回る2000人に近い、組合員(会員)、民医連職員が参加しました。山代温泉、山中温泉、片山津温泉、粟津温泉と加賀温泉郷で、分宿する取り組みでしたが、大成功を収めました。香川からは、職員で平和病院の大西さんと赤木さん、協同病院の宮野さん、組合員で三木・白山支部の佐藤さん、理事の高木さん、間嶋の6名が参加しました。

4日の全体会は、能登の「御陣乗太鼓」で幕開けした後、全日本民医連の藤末衛会長、地元石川県連会長のあいさつに続いて、石川県知事(代理)、加賀市長(代理)の来賓あいさつがあり、記念講演に移りました。講師は、城北病院副院長の柳沢深志氏(全日本民医連副会長)で、「いのちに寄り添う民医連と共同組織」と題して講演しました。柳沢氏は2008年城北病院の患者に寄り添う終末期医療の姿が「笑って死ねる病院」のタイトルでテレビ放映され、感動を呼びました。番組には柳沢医師も登場し、



病院を支える「友の会」の姿も話題に。同名で書籍化されています。講演は柳沢氏が自分の子供にあてた手紙の形をとり、話しかけるようなやさしい語り口で話され、その中には「無差別平等」の民医連医療と、民医連とともに歩む共同組織の役割が込められた講演で、わかりやすく私は深く感動しました。

記念講演のあとは「リレートーク」です。かながわ医療生協の相談活動、岡山医療生協の「子育て応援行事と子育て世代の担い手づくり」医療生協かわち野の憲法を守る活動、熊本県分の地震と友の会の活動、沖縄医療生協の基地建設を許さないオール沖縄のたたかいが報告されました。全体会の終了後は各宿舎に分かれ、温泉につかったあと、夕食交流会を楽しみました。香川は神奈川、和歌山、鳥取、などと一緒に交流しました。

5日は7つの分科会(27会場)に分かれて、250を上回る演題が発表されました。香川医療生協から、東讃ブロックの佐藤多恵子支部長が miki カフェなどの取り組みを、高木国広理事が夏休み宿題塾の取り組みについてそれぞれ発表、好評でした。

(香川医療生協理事 間嶋 智)



今年度の県連学運交の日程が決まりました！

日時

2017年

2/26(日)

場所

香川県社会福祉総合センター
(高松市番町 1-10-35)

例年、3月の春分の日で開催していた県連学術運動交流集会ですが、今年は日程を早めて、2月に開催することになりましたので、各事業所・職場の行事予定に入れておいていただくようお願いします。

また、運営についても今年度から、全日本民医連の総会方針を受けて新たに設置することになった、医療・介護活動委員会が中心となって準備を進めていく予定です。